

2024

TOMIOKA UNESCO ASSOCIATION



富岡ユネスコだより



●編集・発行／富岡ユネスコ協会／事務局・富岡市教育委員会：富岡市生涯学習センター内 TEL/0274(62)1531 FAX/0274(64)4709●

県ユ協H.P URL <http://www.gunma-unesco.com/>

富ユ協H.P URL <https://www.unesco.or.jp/tomioka/>

国際理解バス研修会



富岡ユネスコ協会
前会長 矢野 英司

国際理解バス研修会を昨年の夏休みに開催致しました。今回の訪問先は青山一丁目駅のすぐそばにあるカナダ大使館にお邪魔させて頂きました。

館内に足を踏み入ると、そこはもはやカナダ、庭全体を使ってカナダの地形を表した「カナダ・ガーデン」や、様々なカナダ文化を伝える

会長就任にあたって



富岡ユネスコ協会
新会長 齋藤 勝也

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とで始まるユネスコ憲章（前文）のもと、富岡ユネスコ協会は一九七一年三月に富岡ロータリークラブ、富岡

ギャラリー、イベントなども開催されるシアター、カナダに関する図書を約15,000冊も所蔵する図書館があり、誰でも無料で使用できる。そう、留学向けの資料や子ども向けの設備も整っていて、参加した子どもたちもカナダの絵本を手に取り興味深く拝見していました。中でも印象的だったのは赤毛のインディアンで、私も子どもの頃に赤毛のインの本を読んだ覚えがあります。確か11歳で孤児院から農家に引き取られ生活して行くアン自身の成長過程を記した話だったと思います。明るく元気で読書好きで、一度話始めると止まらないほどおしゃべりで皆に愛されるキャラクターだった記憶が蘇りました。近いうちに改めて読み返してみようと思いました。

カナダの人口は約3,900万人、国土面積は日本の26倍ほどの大きさ。市甘楽郡医師会、富岡市教育委員会の協力のもと民間ユネスコ団体として県内で六番目に設立されました。現在全国では約三百のユネスコ協会、そして加盟国も一九四を数えます。

この五十三年の間、十八名の歴代会長を始め役員、会員の皆様、そして関係諸団体の方々にはユネスコの理念に基づき教育・科学・文化の振興を通して民間ユネスコ活動の推進に大変ご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

二〇三〇年を達成目標とする国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」でも「平和なくして持続可能な開発は達成できず、また、持続可能な開発なくして平和は実現できない」と謳われています。

となるようで、かなり広大です。カナダでは、オーロラやナイアガラの滝をはじめとした雄大な自然が作り出す景観が魅力だそうです。また、カナダの人気の土産はメイプルシロップで、世界の流通する量の7割をカナダ産が占めるという産業になっているとのこと。メイプルシロップは自然から取れる最もおいしい食べ物のひとつですが、なんと、天然メイプルシロップ1リットルを作るのに、40リットルもの樹液が必要なのだそうで、びっくりです。

この度のカナダ大使館にお邪魔し多くの学びを得ることができました。これからの活動もユネスコの精神を基本的な考え、国際平和構築のため活動して行きたいと思えます。

今後ともユネスコ協会の活動に對しましてご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

今、世界に目を向けるとどうでしょう。差別や貧困、格差は拡大の途をたどっています。また、長い歴史の中での受け取りの違いやお互いの国の利害関係によって争いが断える事はありません。

私達はほんの小さな力かもしれませんがこれがこれからも「ユネスコ活動普及啓発作文」や「世界寺子屋運動」「国際理解運動」「富岡ユネスコ少年少女合唱団による各種演奏会」等を通し平和な社会の実現に向けて「人の心の中に平和のとりでを築く」運動に邁進して行きます。

今後ともご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人

富岡市甘楽郡
医師会

会長 武田 滋利

富岡市七日市553-1 ☎0274-62-0542

富岡金融会

名称は順不同

しのめ信用金庫 本店営業部
富岡市富岡1123 ☎0274-62-3111

群馬銀行 富岡支店
富岡市富岡1136 ☎0274-62-4311

東和銀行 富岡支店
富岡市富岡1118 ☎0274-62-3121

群馬県信用組合 富岡支店
富岡市七日市871-1 ☎0274-62-4131

啓発作文

世界寺子屋運動の 大切さ

小六 北村 紗奈

あなたは、しっかりと勉強していますか。これを聞いた人、ほとんどが「はい」と答えるでしょう。ですが、世界にはちゃんとした教育を受けられていない人がたくさんいます。私は何も知りませんでした。この作文を書くことになり調べたまで。

その調べた中で、私が興味を持ったのは「世界寺子屋運動」です。私が最初言ったように、世界の人が学べるように支援をする活動です。私は調べてまず思ったのは、しやうげきです。訳があつて学校に行けない六才から十四才の子どもは約一億二一〇〇万人もいます。そして、教育ができないまま大人になり読み書きができない人は約七億七三〇〇万人いることが調べて分かりました。学校に行けない理由はさまざまです。貧困や紛争、学校が遠い、家事の手伝いなどがあります。これが今の世界です。行きたくても行けない人がたくさんいることを知りました。

ユネスコは「すべての人が公平に学べる場をつくる」というのを目標に、活動をしています。主に、カンボジア、アフガニスタン、ネパール、

ミャンマーなどです。

私は感動しました。素晴らしい活動だと思いました。私はなにも知らないのにSDGsのことを調べて、ただ理解するだけ。

ユネスコの作文を書くことになりました。今私達が知らない場所では戦争が起こっているかもしれません。たくさんの方が死んでいるかもしれません。ただテレビでやっていることを見るだけでなく、自主的に調べないと分からないこともあります。世界の人が「今」を知れば、少し平和になるのかもしれない。戦争をなくそうとかすぐにできることじゃなくとも、自分ができていることをちよつとずつ続けていくことで今生きている人が少しでも安心してくらせるようになれば幸いです。

自分がこれから意識したいことは、人生を楽しく生きることです。若いうちに死んでしまう人がいます。今生きられているのはとても幸せなことと、大切に生きなきゃなと改めて思いました。家に住んでいることも、トイレが使えていること、三食ごはんが食べられていることも私にとっては当たり前です。ですが、その当たり前は世界と同じでしょうか。その当たり前を守るためにがんばって生きようと思います。今しかできないことを最大限に楽しんで後悔しないようにしたいです。

ユネスコと世界遺産

小六 茂木 光

ぼくは、ユネスコと世界遺産について思ったことがあります。

まず、ユネスコ(UNESCO)とは、国民の教育、科学、文化の交流を通じて、国際平和と人類の福祉を目的とした、国際的な組織です。世界中の歴史的な建物や、後世に残していくべきの文化や自然などを審査し、世界遺産に登録しています。世界遺産は、より観光客を増やしたり、厳重に守ったりするためだけにあるのではないのです。他に、どんな役に立っているのか、思ったことが二つあります。

まず、一つ目に思ったことは、教育に深く関係していることです。なぜなら、世界遺産になることで、ただのお寺が有名になり、多くの人が「なんで世界遺産になったの?」や「どんな歴史がある建物なの?」など、深く知たくなるからです。

二つ目に思ったことは、地域にもとても関係することです。なぜなら、ぼくが住んでいる富岡市にも、富岡製糸場という世界遺産があります。富岡製糸場があることで、富岡製糸場が富岡市のはりになります。またそのことで、富岡市にはすごい魅力がある、少しだけでも自信をもつことができます。自信をもつことで、地域を大切にしようともなります。だから、地域の人々の関わりやSDGsにも、とてもいいと思います。

このように世界遺産は、観光客を増やすだけでなく、教育や地域、SDGsなどにも、とても関係していると思います。また、自分の身近にも世界遺産があるので、より地域の人々との関わりを強くしたり、地域を大切にしたりしていきたいです。

あたりまえ?

小六 今井 蒼介

「ユネスコ」と聞くとぼくは、世界遺産を守る活動をしていることが思いかびます。それと、学校で書きそんじはがきを集めていることが思いかびました。この作文を書くにあたり、どんな活動をしているのかなと思ひ、ユネスコのホームページで調べてみました。調べてみるとぼくが知らない活動がたくさんありました。災害子ども教育支援や未来遺産運動などです。

そこで特に印象に残ったのが、世界寺子屋運動という活動です。名前もどういふ活動をしているのかも全く知りませんでした。世界寺子屋運動についてくわしく調べてみると、教育を受けられない子どもと教育を受けられるようになった大人たちが教育を受けられるように学べる場をつくるという活動でした。日本では義務教育があるため文字などをあたりまえに書けます。日本に生まれたぼくは、「字が書ける」のはふつうだと思っていました。ですが世界では字を書くことができない人がいることがわかりおどろきました。

～お車のことなら、
なんでもご用命下さい～

民間車検場
各種自動車販売・修理

**モーター自動車
株式会社**

〒370-2316 富岡市富岡1262
(姫街道通り)
TEL 0274-63-1661(代)



**株式会社
リアン**

群馬支店 石井 潤

〒370-2316
富岡市富岡1761-102 イーズ1
TEL 0274-67-5982
FAX 0274-67-5983
http://www.lien-ins.co.jp/

未来もこの街に住むために。



**有限会社
クリーンサービス**

〒370-2011 群馬県富岡市下高尾545
TEL 0274-64-3534 FAX 0274-64-3545

私たちは、安心、安全で
快適に暮らして行けるよう
地球環境保全のお手伝いを
させていただきます。

CLEAN SERVICE CORPORATION

・自動車総合クリーニング
・NO-WAXポリマー加工・ウインドフィルム



JŌSHŪ SUNCLEAN
上州サンクリーン

富岡市下高尾793(県道前橋安中富岡線)
☎0120-004286
☎75-4055 FAX75-4709

不動産の売買・斡旋から
アパート・マンションの
賃貸管理リフォームまで

**有限会社
真榮商事**

富岡市七日市894
☎0274-63-0164

次にぼくは今、どれくらい教育を受けられない子どもがいるかを調べました。結果、約六千万人もいることがわかりました。この人数は、今の日本の子どもの数の約四倍です。同じ地球の上でも国の紛争などの理由によって学校に行けない。まんぞくに教育をうけられない人たちがこんなにもたくさんいるのだとおどろきました。

最後にぼくは、なぜ教育を受けなければならぬかを調べました。調べてみると、就職ができないことや自己表現ができないことなどがあり、みんなが平等に暮らせるようにユネスコは世界寺子屋運動をしているのだと思いました。

今ぼくたちがあたりまえのように教育を受けられるのはすごくありがたいことなんだと改めて感じました。日本ではあたりまえのことが、あたりまえにできない人たちがいることを忘れてはいけないと思いました。これからは勉強ができることに感謝し、ぼくが知らない世界で起きているたくさんのおもちゃを知りたいと思いました。

ぼくの町の世界遺産

小六 須藤 千智

ぼくの町には、富岡製糸場という世界遺産があります。平成二十六年、ぼくが三才のときに登録されました。なので、自分としては気付いたら当たり前前にあった物で、学校などでも何度か訪れたこともあり、すごく身

近に感じている場所です。でも、今この作文を書くにあたって改めて調べてみると、世界遺産とは「世界に人々で守って後世の人たちに伝えていく貴重な文化財」だということを知り、自分の住んでいる町に世界遺産があるということは、思っていた以上にすごいことなのだと思います。

富岡製糸場は、ぼくが生まれるはるか前、明治時代に作られました。上毛カルタで「日本で最初の」と言われていますが、アジアでも初の近代的な工場でもあったそうです。糸を生産し、日本の近代化を支えていたことを2学期の歴史の授業で習いました。つまりカイコがいなかったら、今の日本はないということですね。なぜかというところ、開国当時、日本は世界からかなり遅れをとっていました。その日本が富岡製糸場で糸を大量生産し、それを世界に売り外貨を稼ぐことで、国が強く豊かになれたからです。

ただ、ぼくの母が子供の頃は、母の祖父の家、近所の家など、たくさんの農家でカイコを飼っていたそうです。今は養蚕農家はとても減っています。ぼくも実際にカイコを飼っている農家を見たことがなく、富岡製糸場ももう動いていません。それは少し残念だけれど、総合的な学習の授業で、今、カイコと絹が衣服関係以外の様々な分野で注目されていることを知りました。中でもぼくが一番、興味関心をもったのは、NASAなどが、カイコを食料として研究していることです。カイコはたんぱく質が豊富で栄養価が高く、おまけに水と桑の葉があれば、簡単

にしかも1ヶ月程度で大きくなりまします。今後心配される地球上での食糧危機だけでなく、あまり資源がない宇宙でも食料として大いに期待されています。ただ、ぼくはカイコを食べるのは少し抵抗があるので、今から食べることに慣れておく必要があるなと思いました。またカイコの糸はたんぱく質なため人間の体と相性が良く、人工血管も開発されているそうです。アレルギー反応が起こりにくく、今後、医療の世界でも活躍が期待されています。カイコはかつて日本の近代化を支えてくれましたが、これからは日本だけでなく、世界の未来を支える、本当にすごい生き物だなと思います。

ぼくは偶然、世界遺産・富岡製糸場のある町に生まれ、そのおかげでカイコや富岡製糸場の素晴らしさを学ぶことができ、とても幸せに思います。また同時に、この素晴らしい「絹の文化」を、ぼくが生まれる前からずっと今に伝えてくれた先人達に感謝の気持ちで一杯です。この素晴らしい「絹の文化」をたくさんの人に知ってもらい、未来へとつなげていくのが、これからのぼくたちの役割であり、そのために、これからもずっと富岡製糸場と絹の文化を大切にしていきたいです。

未来を創る教育

中三 嶋田 優菜

私は、とある女の子の動画に心を打たれた。その動画に映っていたのは、カンボジアに住む十六歳の女の子、サムナンさんだった。サムナンさんは、家が貧しく、兄や姉の進学にお金が必要だったため、学校を辞めたと話していた。十六歳という年齢が近いので、より感情移入して見てしまった。学校を辞めた後は両親を支えるために、掃除や洗濯、牛の世話など毎日の手伝いをしていたそうだ。家の貧しさや環境から学校を辞めてしまう人の話はテレビ等でよく聞かれますが、改めて動画でその様な人達のことを見ると、気の毒でななかつた。動画をそのまま見続けてみると、「寺子屋」という言葉がでてきた。彼女はそこで二年間学び、中学校、高校へと進学することができたそうだ。

気になったので寺子屋について調べてみると、ユネスコが行っている「世界寺子屋運動」にたどり着いた。世界寺子屋運動とは、全ての人が公平に学ぶ機会を得られるよう、無償で学ぶ機会を応援する活動である。実際、世界には読み書きができない人が約七億五千万人もいるそうだ。日本は法律で定められている義務教育のおかげで文字の読み書きを学習することができるため、識字率は百パーセントだそうだ。文字の読み書きができるのは当たり前だと思っていたが、それは大きな間違いだと知った。そして、文字の読み書き、計算ができない人々に教育の場を与えているのが世界寺子屋運動であると分かった。

文字の読み書きや計算ができないと様々な問題が起こり得る。例えば文字が読めなければ危険を認識することができない。薬品の誤飲や警告

看板を理解できず、危険な場所に足を踏み入れてしまうかもしれない。また、計算ができないと詐欺行為にあつてしまう可能性だってある。就職することもままならなくなってしまうのだ。

私たちに何かできることはないのだろうか考えた結果、書き損じハガキの回収活動を行っていたことを思い出した。私たちの学校では毎年冬に書き損じハガキ、未使用の切手やプリペイドカードなどのタンス遺産を回収する活動をしている。私は印刷ミスをした年賀ハガキを冬休み明けに学校に持っていく。本当にこれで寺子屋が建つのだろうか毎回疑問でしるが、ユネスコのホームページを見みると成果が現れていた。書き損じハガキも十四枚集まれば、カンボジアでは一人が一月学校に通うことができるそうだ。教育が受けられない人の学びを支えているんだと思うと、何だか嬉しくなった。

教育を受けられるのが当たり前ではないと改めて実感した今、世界の教育問題と強く向き合い、自分ができることをしたいと強く想った。

明るい未来を創るために

中二 田中 孝一

僕は、テレビのニュースなどでよく「ユネスコ」という言葉を耳にすることがあります。学校でも夏休みの作文の選択課題で「ユネスコにつ

いて」という選択肢を見たことがありません。その言葉には興味を持っていますが、「ユネスコって何？」と聞かれても何も言えません。そこでユネスコについて調べてみようと思いました。

まず、ユネスコは国際連合の組織で、名前には教育・科学・文化という意味が含まれています。そして、教育の普及、科学の発展、文化遺産の保護や活用を目的に様々な活動を行っています。

僕はこの結果から、科学について重視していることが少し意外だと感じました。ユネスコは僕たちの知らない世界の課題についてまで考えているんだと思いました。

そして、僕が印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、ユネスコの加盟国の数です。現在の世界の国は百九十六ヶ国あり、そのうち百九十五ヶ国がユネスコに加盟しているというのです。調べていく中でアメリカが脱退してしまったということも知りましたが、その一ヶ国以外の全ての国が加盟していることに僕はとても驚き、ほとんどの国が協力していることが本当にすごいと思いました。

二つ目は、世界遺産の保護についてです。世界には開発途上国という資金や人材、技術などが不足している国もあり、そのような国の危機的な状況にある世界遺産の保護にもユネスコは力を入れています。主にやっていることは、保全活動や人材育成・普及啓発活動などです。僕は世界遺産の保護に、保全活動などの修復作業のイメージを持っていたのですが、人材育成や普及啓発活動とい

う取り組みを知って他の取り組みもあると分かりました。普及啓発活動とは、行っていることを市民などに伝えることです。僕は時々、コンビニエンスストアに行ったときレジで募金箱を見ることがあります。普及啓発活動について調べたとき、僕は身近な所にも活動が進んでいるんだと感じました。人材育成についても調べました。これは、修復技術を教え、未来に伝えていくための意識や行動を育むことだそうです。この取り組みをすることで、危機的な状況にある世界遺産が減り、開発途上国を減らすことができます。

僕はユネスコについて調べ、この組織は世界の国同士が協力してより良い未来を創るためにとても重要だと僕は思いました。もし自分たちに活動する力がなくても、募金活動など、小さなでも力を続けていくことで少しでも力になれると僕は考えます。僕は、これから世界の一人一人が協力し、明るい未来が完成することを願っています。

世界中の みんなに教育を

中三 永井 杏

私が「ユネスコ」と聞いたときに思い浮かんだ活動は書きそんじハガキの収集です。なぜなら、ほとんど毎年、この活動に参加しているからです。この活動を知ったのは小学生のときです。小学校で書きそんじハガキの収集について説明されたとき

に「ハガキが十四枚あると一人がひと月学校に通える」と言っていました。その説明を聞いたときにこの活動に協力したいとすぐに思いました。だから、家に帰ってから、ハガキを探しました。しかし、家で集めたハガキは十四枚もありませんでした。でも、これで誰かの役に立てると思うととてもうれしい気持ちになったことを覚えています。私はこのような経験があったので世界の教育について調べてみました。

まず、ユネスコとは、教育・科学・文化における国際協力を通じて世界の平和と人類の福祉に貢献している国際機関のことです。さらに、ユネスコが行っている教育に関しての活動を調べてみると、世界寺子屋運動とありました。世界寺子屋運動は一九八九年から活動を始め、基本的な人権として誰もが教育の機会を得て、貧困のサイクルを断ち切り自ら行動を起こすことを目標として活動しています。世界には学校に行けない人がたくさんいますが、それ以上に教育を受けたいまま大人になって、文字の読み書きができない人がたくさんいることを知りました。日本人の大人で文字の読み書きができない人はあまりいないと思います。だから、大人が文字の読み書きができないのはとても深刻な問題だと思っています。

しかし、教育が受けられない国はテレビや本がなく、文字に触れる機会が少ないと思います。また、文字の読み書きができない大人が増える、大人が子供に文字の読み書きが教えられる、もっと文字の読み書きができる人が増えてしまえば、寺子屋でような人を減らすために、

多くの人が教育を受けられるようになってほしいです。

日本にいくと、教育を受けられることが当たり前ではないことを感じづらいついてきます。でも、世界に目を向けると教育を受けられないことが当たり前な地域があります。私は学ぶことはとても楽しいし、新しいことを学ぶときはワクワクします。そんな体験を世界中の人にしたいと思っています。だから、私はこれからも書きそんじハガキの収集に協力して、世界寺子屋運動を広められるようにしたいと思っています。また、世界の教育についての現状を多くの人を知り、みんなが支援をしていく世の中になってほしいです。

夢や希望を守るため

中一 須賀 翔音

僕は、東日本大震災の時、一歳でした。今回調べるまでは、今の僕と同じ世代の子どもの学校生活や進学の道、将来の夢が途絶えてしまっていたことを知りませんでした。

ユネスコの活動について調べた時に、東日本大震災の時に進学をためらう子どもが多かったことを知りました。そんな子どもたちのために、全国から日本ユネスコ協会連盟に集まった寄付で、五千人を超える子どもたちの学びを支援することができたことを知り、もっとたくさんの人に活動を知って欲しいと思いました。自然災害は、日本のどこにでもいつか起こる可能性があります。巨大



**若葉印刷
株式会社**

富岡市下黒岩812-1
TEL (0274) 62-1820
FAX (0274) 64-3483

**グリーン観光
バス友**
HP・QRコード

フリーダイヤル 0120-73-2223
TEL: 0274-73-3333
FAX: 0274-73-3452
当社HP: <http://greenkan.co.jp/>



**株式会社
湯川工務店**

富岡市一ノ宮1530
TEL 0274-62-2015



鋼・鉄・外壁・屋根工一式
有限会社 **佐藤進板金**

富岡市下黒岩702-60
TEL・FAX (0274) 63-7615

新築
リフォーム



(有)黒澤工務店

甘楽郡甘楽町秋畑4525-1
☎0274(74)9139
<http://www.fp-kurosawa.jp>

地震とそれに伴う大津波は、今後三十年以内に七十パーセントから八十パーセントの高い確率で発生が予測されており、台風や豪雨、土砂災害は毎年のように多発し、多くの学校や家庭や学校が被災し子どもの教育環境が危機に陥っています。東日本大震災では、多くの被害が出ました。就学のための経済的支援が必要になった子どもは約三万七千人、被災した学校の数約六千二百八十四校、全壊、流出した住居は約十二万棟。そして、災害で仕事や家を失ってしまった親を助けるため就職して高校に行けなかった、行かなかった子どももいました。そんな人たちの学びを守るため、ユネスコは「災害子ども教育支援」という活動を始めました。

一つ目は奨学金です。災害で就学のための経済的な支援が必要になった生徒や災害で親を亡くした生徒に、一人あたり月額二万円の給付型奨学金を三年間にわたって支援してくれ

ます。二つ目は学校支援です。災害で被害を受けた幼稚園、小学校、中学校、高等学校など、教育・子どもに関連する機関・施設に一枚あたり、二十万円から百万円相当の範囲内で必要な物資等を調達するための支援を行います。災害時には、学校ごとに必要なものが異なります。東日本大震災での学校支援の経験を生かし、被災地の要望を一枚一枚聞いて、支援のミスマッチや支援のタイミングのズレが生じないように支援していきます。

三つ目はユース、ボランティア支援です。復旧、復興のためのボランティア活動に取り組む次代を担うユ

ース・グループが力仕事など、若者の力が必要な災害後でもない復旧、復興の場面でボランティア活動に取り組む意欲のあるユース・グループに対して、被災地への旅費の一部を支援します。

「入団コメント」

新入団員 小四 齋藤 夏井

おなかから声を出すのがむずかしかったけど、今はうまく声を出せるようになってうれしいです。これからもれんしゅうをがんばりたいです。

新入団員 小一 齋藤 なのは

うたをうたうのがすきだから、おもったよりうまくできるようになりました。みんなとこえをあわせてがんばります。

ボランティアフェスティバルについて

小四 北川 らん

たくさんさんのボランティアの団体やたくさんの方がいて、色々な体験もできて楽しかった。来てくれた全員に歌を聴かせる事ができなくて残念でした。

スタンプラリーのスタンプ台がユネスコの部屋にあって、たくさん人が来てくれて嬉しかったです。

未来を守るため、未来を担っていく若者のため、これから起こる災害で子どもたちの学びが途切れないように被災地の教育復興を支えていきます。多くの人にこの活動を知ってもらい、支援の輪を広げ将来の夢や希望を守ってほしい、守りたいと思いました。

ユネスコ合唱団の思い出

卒団生

私は、小学校一年生の時、歌が好きなので、この合唱団に入りました。最初は緊張していましたが、先生や先輩が優しく迎えてくれました。妙義少年自然の家の合宿に行ったり、確水製糸の工場見学に行ったりと、色々な思い出が生まれました。私はこのユネスコでの経験を活かし、今後も頑張っていきたいと思います。今までありがとうございました。

クリスマス会に参加して

小四 横田 莉里愛

十二月合唱団でクリスマス会をしました。

一人ずつクリスマスプレゼントを持っていき、音楽に合わせながらプレゼント交換をしました。

ワクワクキウキウしたプレゼント交換で、すごく楽しかったです！

そして、その後みんなで顔合わせながらクリスマスケーキを食べとても楽しいクリスマス会でした！



定期演奏会



まなびのつどい



とみおが夏まつり

皆様の「安全」「安心」「安定」のために



TSP ネット群馬

〒370-2316 富岡市富岡2136-3
TEL: 0274-63-3141
FAX: 0274-64-3941

各種トランス製造

アテネ電機
株式会社

URL: www.atenecorp.com
E-mail: info@atenecorp.com
TEL: 0274-67-7814

墓所、墓石、灯籠
各種石材加工施工

石匠の技と心

有限会社
石井石材

〒370-2321 富岡市岡本455
TEL 0274-64-1636
FAX 0274-62-6298

プロパンガス・住宅設備機器
キッチン・バス・トイレ・リフォーム
富岡市指定上下水道工事店
オール電化・太陽光システム



イソダコーポレーション
株式会社

群馬県富岡市下黒岩599-4
TEL 0274-62-0666
FAX 0274-62-4805
http://isoda-corp.co.jp/

登録有形文化財

日本料理

ときわ荘

〒370-2316 富岡市富岡1729-1
TEL 0274-62-0090
FAX 0274-62-0176

令和5年度ユネスコ活動 普及啓発作文入賞者一覧			学校名	児童生徒名	学年	学校名	児童生徒名	学年	学校名	児童生徒名	学年	学校名	児童生徒名	学年
◆最優秀賞 (特別会長賞)			額部小	北村 紗奈	6	富岡小	池田 由	6	額部小	入山 結月	6	富岡中	堀林 澤	1
			妙義中	嶋田 優菜	3	富岡小	田戸 茉	6	高田小	宮城 侑	6	富岡中	野結 佑	1
◆最優秀賞			富岡小	茂木 光	6	富岡小	神武 結	6	妙義小	神宮 多	6	富岡中	飯大 響	2
			西小	今井 蒼	6	富岡小	段平 龍之介	6	富岡中	本柳 澤	2	富岡中	小澤 柴	3
			丹生小	須藤 千智	6	富岡小	川平 川	6	富岡中	佐神 保	2	富岡中	岡村 本	3
			富岡中	田中 賀一	2	富岡小	吉廣 斗	6	富岡中	酒井 菜	2	富岡中	野村 紀	2
			富岡中	須賀 翔	1	富岡小	生駒 奈	6	富岡中	佐藤 楓	1	富岡中	山本 綾	2
			妙義中	永井 杏	3	高瀬小	神宮 楓	6	富岡中	佐藤 桃	1	富岡中	山本 綾	2

国際理解バスに参加して

小五 加藤 叶望奏

わたしは、国際理解バスに参加して、国と国のつながりがとても大事だということが分かりました。

国際理解バスに参加するのは2回目ですが、前回よりもたくさん理解できることが増えてとても勉強になりました。

わたしが一番印象に残っている所

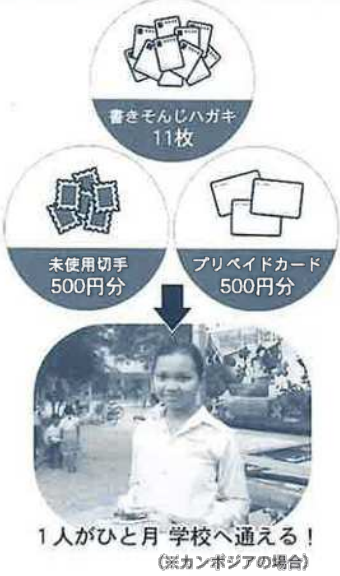


国際理解バス「カナダ大使館」

書きそんじハガキ回収

回収枚数1,930枚。
交換手数料を引いた額102,724円分の切手を日本ユネスコ協会に送付しました。ご協力ありがとうございました。

書きそんじハガキ・キャンペーンって？



書き間違いや、古いなどの理由で投函されなかった未使用ハガキ、タンスの中に眠っている金券、株主優待券などの「タンス遺産」を回収して、集まったハガキや切手などを募金に換え、世界寺子屋運動の活動に使わせていただくキャンペーンです。

日本ユネスコ協会ホームページより引用

世界を救う「書きそんじハガキ」

は、カナダ大使館です。初めに建物の事を説明してくれました。カナダや日本をイメージした石や、高円宮記念ギャラリーなどがあり、日本とカナダの交流が深いことが分かりました。他にも、カナダについてたくさん話の聞けました。その中でも一番すごいと思ったのは、多様性を重視していて、なん民や移民をたくさん受け入れているということです。わたしはふだんから色々な考えの人がいていいと思うので、この話を聞いてとても感動しました。日本でもカナダのように色々な人にやさしくできる心が広がっていくといいなと思いました。

令和五年度「書きそんじハガキキャンペーン」の結果、市民の皆様の多大なるご協力をいただき、一、九三〇枚もの書きそんじハガキを寄付していただきました。書きそんじハガキは現金化し、一〇二、七二四円を日本ユネスコ協会連盟に送付しました。

この寄付は「世界寺子屋運動」の資金となります。世界寺子屋運動とは世界に一億人以上いる学校へ行けない児童生徒に対して、教育の機会を得られるよう無償で学ぶ機会を支えた。

私達の小さな一歩が、世界中の子ども達が安心して暮らせる大きな力になっていると考え、と嬉しくなります。ご協力本当に有りました。



富岡ユネスコ少年少女合唱団
団員大募集中!!

- 入団できる人
富岡市内及び甘楽郡内在住の小学1年生～高校3年生
- 練習日
毎週土曜日 午後2時～4時
- 場所
生涯学習センター・地域づくりセンター
甘楽教育館 他
- 連絡先
生涯学習センター ☎62-1531 (ユネスコ担当)

あなたの街の
ドコモショップ 富岡店

NTT docomo 富岡店
ドコモショップ 富岡店

〒370-2343 群馬県富岡市七日市 260-1
☎0120-601-156

営業時間 10:00～19:00 定休日 年中無休